

【台風第19号の対応状況】

1 台風19号対応の経過

期日	時間	市の対応
10月9日(水)	15:00	・内水タイムラインの発動
10月10日(木)	16:30	・危機対策会議 10/12の公共施設休館、市主催イベント中止の決定
10月12日(土)	9:00	・災害警戒本部設置 ※コールセンターの設置
	10:00	・自主避難所7ヶ所開設 (加須コミセン、礼羽公民館、大桑公民館、樋遣川公民館、高柳コミセン、北川辺老人福祉センター、豊野コミセン)
	15:10	・災害対策本部を設置
	15:30	・市内小学校等23ヶ所(拠点避難所)に「自主避難所」を開設
	16:20	・種足1~8区に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令(荒川) 種足小学校避難所開設
	18:30	・利根川、渡良瀬川(外水)タイムラインの発動
	23:00	・加須地域の 大越・樋遣川地区、北川辺地域及び大利根地域 に対し「翌朝4時に避難勧告・避難指示を発令する見込みの避難準備開始」を周知 ※自治協力団体、民生委員に対し、同情報を連絡
10月13日(日)	1:00	・北川辺地域に「避難指示」を発令 【公共避難】バス5台×2回で広域避難開始 (避難先:ふじアリーナ、キャッスルきさい、野木中学校、三和健康ふれあいセンター) 水防団、自治協力団体等が避難の広報 加須警察に対し交通指導を依頼(信号の手動操作等)
	2:00	・加須地域の 大越地区・樋遣川地区及び大利根地域全域 に「避難指示」を発令 【公共避難】大利根:バス4台(避難先:むさしの村、加須西中、旧騎西高校) 大越、樋遣川:バス1台(避難先:田ヶ谷総合センター) 水防団、自治協力団体等が避難の広報
	8:10	・「避難指示」「避難準備・高齢者等避難開始」解除 全避難所閉鎖
	10:10	・災害対策本部を廃止

2 被害状況

区分	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
床上浸水(住家)	0件	0件	0件	0件	0件
床下浸水(住家)	0件	0件	0件	0件	0件
道路冠水	23箇所	5箇所	5箇所	20箇所	53箇所
うち「通行止」	16箇所	5箇所	5箇所	20箇所	46箇所
うち「東北道ボックス」	7箇所				7箇所
倒木	3箇所	2箇所	1箇所	1箇所	7箇所
水没車両	1台	0台	1台	0台	2台
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大利根地域北下新井地内の稲荷木落排水路に隣接する市道大2129号線の陥没により通行止となった。L=3.5m ・元和小学校 放送室の雨漏りによる放送設備の破損 ・志多見小学校 正門門扉の破損 ほか 				

3 避難者数 (11/14 現在)

(1) 全避難者数	9,554 人	避難指示発令地区 (広域避難者)	8,547 人
		避難準備・高齢者等避難開始発令地区	36 人
		自主避難者数 (全地区)	971 人
(2) 避難指示発令地区 (広域避難者) の避難の方法			
・ 自主避難	：各自の自家用車等による避難		約 8,000 人
・ 公共避難	：バスによる避難 ※主に避難指示発令地区の災害時要援護者や高齢者等		約 500 人

令和元年第 3 回市議会での対応

今議会において、台風 19 号関連として、道路災害復旧、広域避難の際のバス借上料、避難所開設に要した経費、防災無線戸別受信機の全世帯無料貸与等の総額 516,884 千円の補正予算を措置

台風 19 号通過後の取組

1 意見の聴取・検証会等の実施について

- (1) 内部での検証会議を適宜開催
- (2) 災害地区支援班 (市職員) からの意見聴取 (10 月 16、17 日)
- (3) 全職員アンケート調査を実施 (10 月 28～11 月 6 日)
- (4) 利根川中流 4 県境広域避難協議会の開催 (11 月 11 日)
- (5) 今後、市民アンケートを実施予定 (11 月下旬～12 月)
- (6) その他、様々な機会での意見聴取の実施

2 避難等に協力いただいた近隣自治体・事業所等へのお礼

(1) 市長による近隣自治体への訪問

10 月 23 日 古河市 (避難者 45 人、青木副市長)、野木町 (避難者 294 名、真瀬町長)、24 日 板倉町 (避難者 329 人、栗原町長)、28 日 館林市 (避難者 35 人、須藤市長、小山副市長)、29 日 栃木市 (避難者 8 人、大川市長、南斉副市長)

(2) 副市長等による関係機関・事業所への訪問

10 月 31 日 加須清輝苑 (避難者 77 人)、むさしの村 (避難者 2,000) 人、イトーヨーカドー (避難者 30 人)、平成国際大学 (避難者 50 人)、サンヨーメディカル (避難者 20 人)、加須警察署 (広域避難時の交通誘導 信号の手動操作等)

3 浮かび上がった課題と対応

(1) 検証を進めていくうえで浮き上がった課題

- ① 避難情報の周知
- ② 避難情報発令のタイミング
- ③ 避難所の開設・運営
- ④ 避難スペースの不足
- ⑤ 移動の手段・経路

(2) 課題への対応

これらの課題へは、鋭意検討していくが、その一つとして、まずは、

- ① 避難情報伝達手段確保の一つとして、**防災無線戸別受信機の全世帯無償貸与を予定**
 - ② 地域防災計画の見直し
- に取り組み、その他の課題についても、順次、検討をしていく。